

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 28

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		学校支援活動推進事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	町内小学校及び中学校と地域との連携体制の構築のため地域全体で学校を支援する事業を効果的に実施することにより、地域の教育力の活性化を図る。				全体計画 (平成 23 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 1,330 千円 事業費計 1,330 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	12 学校教育の充実				
	単 位 施 策	3 開かれた学校づくりの推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	220 千円	380 千円
	合計	千円	千円	千円	220 千円	380 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	小中学校と地域住民との連携不足。	各学校の開設数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域と学校の連携体制の構築。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		① 雄武小学校、沢木小学校、幌内小学校、豊丘小学校、共栄小学校、雄武中学校	目標年度	平成23年度	
			目標値	6 校	
			実績値	3 校	
達成度	50.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域の教育力の向上や地域全体で学校教育を支援する体制づくり。	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
学習支援	総合学習1日間・ミシン学習5日間・オムイ塾6日間・スキー学習23日間・水泳指導2日間				
読書支援	雄武小学校毎週水曜日・沢木小学校月1回・共栄小学校月1回				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	学校と地域の連携による学校づくりや地域づくりに関する、学校、家庭、地域の意識向上が重要であることから当該事業の開催は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	目標値には達することはできなかったが、多くのボランティア指導者の登録があり、多種多様な事業展開を行うことができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	地域の素材や既存の備品等を利用し事業展開を行っている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	各学校からの要望により、適正なボランティア派遣を調整している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域と学校との連携により、効果的な事業展開を図ることができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
継続することにより、多様な学習機会が提供でき、地域における意欲向上が期待できる。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 29

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		生涯学習推進事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	町民のライフステージやニーズに応じ、生涯にわたり学び・学習の活動を続けていくために、講座及び学習会等を開催する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 3,550 千円 事業費計 3,550 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	200 千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	816 千円	547 千円	377 千円	470 千円	400 千円
	合計	816 千円	547 千円	377 千円	670 千円	400 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	生涯学習ニーズの把握とその活動支援対応	各学級・講座の開設数	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新しい知識や技能など、生活の向上に向けた学習機会の提供	指標(指標計算式/解説)	
		目標年度	平成23年度
		目標値	17回
		実績値	19回
		達成度	111.8%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生き方や社会のあり方について考え、判断し、行動する自己高揚	②	
		目標年度	
		目標値	
		実績値	
達成度	%		
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
生きがい大学	全10回の開催～講話・学習会・芸術鑑賞会・スポーツ交流・西紋地区交流会		
町民大学	全4回の開催～「あなたならどうする?家族が倒れたら(藤田 智)」・「チェアスキーで金メダル(狩野亮)」・「音と気～生の音楽のすばらしさ(大平まゆみ)」・「地域の可能性とまちづくり(藻谷浩介)」		
成人講座	書道教室		

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	社会情勢の変化に主体的に対応する住民の学習支援を行うため。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	多様なジャンルの学習提供により、住民意欲の向上につながっている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率 的／課題あり	判断の理由	町民ニーズに対応したプログラム内容に工夫するなど、参加率の向上と事業費精査を行いつつ効率的な実施を図った。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町民全てが参加できるように配慮した内容で実施している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおりに実施でき、効果的に事業の推進を図ることが出来た。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
継続した事業の実施を図ることで、多様な学習の機会が提供でき、地域における生涯学習への理解と学習への意欲向上につながる。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 30

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		武雄市児童交流事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	児童を武雄市に派遣すること及び武雄市児童を受け入れることによって異なる地域の気候や生活、文化に対する理解と寛容を養うために地域間交流を図っている。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 2,160 千円 一般財源 10,296 千円 事業費計 12,456 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単 位 施 策	3	青少年教育の推進			
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	390 千円	360 千円	360 千円	1,400 千円	480 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	1,785 千円	1,547 千円	1,487 千円	956 千円	2,520 千円
	合 計	2,175 千円	1,907 千円	1,847 千円	2,356 千円	3,000 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内小学生(5年生・6年生)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	より多くの異文化や気候風土のための体験機会の確保	派遣児童16名、引率者4名 受入児童16名、引率者4名		指標(指標計算式/解説)	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	体験による生きる力の醸成とリーダーの養成	① 派遣児童及び引率者	目標年度	平成23年度	
			目標値	20名	
			実績値	19名	
			達成度	95.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	実施後の学校及び地域等でのリーダーの期待と学ぶ意欲の促進	② 受入児童及び引率者	目標年度	平成23年度	
			目標値	20名	
			実績値	20名	
			達成度	100 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
派遣	町内各小学校児童15名、引率者4名派遣。学校交流やホームステイを体験。				
受入	武雄市児童16名、引率者4名を受け入れ。学校交流、共同合宿、雪遊びを体験。				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	気候、風土の違う地域との文化的・教育的な交流は、地域児童の情操教育、郷土意識の向上及び健やかな変容を図るため必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	派遣人数は計画通りではなかったが、本町とは違う気候や風土、生活習慣を体験でき、豊かな人間性とたくましい心が養われた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	事前調査により交通手段、日程等の工夫を行い経費削減に取り組んでいる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	5年生以上の全児童を対象として、希望者について等しく参加を認めているとともに適切な受益者負担を求めており、公平性を保っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
児童の体験交流により本事業の目的に沿う事業の実施ができている。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持	継続／現状維持	
地域間交流等の体験をとおして、それぞれの次代を担う青少年の育成が図れることから、継続が必要である。	同左	

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 31

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		家庭教育推進事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長		職名	係長
		氏名	横田和幸			氏名
事業の概要	休日の拡大に伴い、地域や家庭における教育の役割も増大しており、教育力の低下も叫ばれている中で、子育てをする上でもっとも大切な場である家庭での教育の在り方等、学習機会の支援を行う。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 2,000 千円 事業費計 2,000 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業		優先度 B
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単 位 施 策	3 青少年教育の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	291 千円	294 千円	252 千円	284 千円	350 千円
	合計	291 千円	294 千円	252 千円	284 千円	350 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	家庭教育環境の向上と、多くの学習機会の支援及び情報共有	学級数と参加者			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	充実した家庭教育環境の醸成と家庭教育を支援する地域づくり	① 開設学級	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成23年度	
			目標値	13 学級	
			実績値	6 学級	
達成度	46.2 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	家庭・学校・地域・関係機関とのネットワークの構築と学校教育・社会教育との連携	② 学級及び講演会参加者	目標年度	平成23年度	
			目標値	300 名	
			実績値	453 名	
			達成度	151.0 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
家庭教育学級	雄武小学校の6学級を開設し、親子でレクリエーションや調理実習を行った。(各PTAの創意、工夫で実施している)				
家庭教育講演会	講演会「いかりや流人生哲学～親父から学んだ家庭教育のあり方」(いかりや浩一)の開催(雄武町PTA連合会との協力のもと実施)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	学級開設をとおして、ふれあいと学びの学習をするなど、家族と過ごす時間を確保し親子の絆が図られる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	家庭教育学級を開設することで学校、児童、親の3者のふれあいと交流の場の提供ができた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	家庭教育学級では必要最小限で経費の一部を助成しており、自主的な活動等の支援により、事業の効率的な効果が図られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	家庭教育学級は開設学級の参加者による自主企画・自主運営としており、家庭教育講演会は、一般町民の参加として公平な周知啓発を行っている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
学校と家庭との連携により家庭教育の推進を図る必要があり、多くの学級を開設することで計画どおりの事業が実施できた。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持		
家庭教育の充実を図る事業であり、全学校、保護者、児童の交流の機会を継続して提供することで、情報の共有化が図られるとともに、さらなる家庭教育の向上が期待できる。		

* 展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 32

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		おうむ通学合宿事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	子ども達の直接体験の中でも不足している生活に関する基本的な知識・技能・習慣についての支援補充をするため、地域の施設を活用した、共同生活体験の調査研究を行う。					全体計画 (平成 22 年度～ 23 年度)
						事業費
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単 位 施 策	3	青少年教育の推進			
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	児童	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	事業展開が可能な施設の確保及び指導者等の地域ボランティアの体制整備	生活体験等の実施(試行)	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	子ども達の直接的な体験(生活体験、自然体験、文化体験)との関わりについて異年齢の共同生活を通じて支援する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
		① 調査	目標年度 平成23年度
			目標値 1 式
			実績値 1 式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	子どもの自立心や生活力の向上、協調性、社会性が養われるとともに、大人を含めた町民の交流等を深め、地域づくりにつなげる。		達成度 100.0 %
		②	目標年度
			目標値
			実績値
		達成度 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
調査	町が取得した雄武農業開発事業所(宿舍)の有効活用としての事業利用の検討の他、人的体制等の対応方策をはじめ事業化の可能性を含めた検討を行った。		

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	現段階において事業自体の必要性があるとの認識に立ち試行的実施にむけ調査を進めた。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	事業の必要度は高いが、予定をしていた地域施設活用が困難になるなどの、調査結果が得られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	コストをかけずに調査を実施し、一定の成果を上げることができたことから効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	事業参加対象全児童からの要望調査を行い、事業への重要性を把握することができたが、施設確保を保つことができなかった。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
調査検討を進めてきたところであるが、地域施設活用が困難になったことから、試行的実施は難しいと思わる。	同左	

今後の展開方向
(Action)

廃止	休止	
	施設活用が困難になったことから、当面休止とする。	

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 33

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		町民センター施設更新事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	町民センターにおける施設設備において老朽化等の原因による施設の維持管理及び経費削減とともに、町民に利用しやすい施設として計画的に更新改修を実施する。				全体計画 (平成 21 年度～ 24 年度) 国・道支出金 1,733 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 30,154 千円 事業費計 31,887 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単 位 施 策	5 施設・備品の有効活用				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	1,680 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	1,565 千円	172 千円	14,343 千円	11,770 千円
	合計	千円	3,245 千円	172 千円	14,343 千円	11,770 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民センター	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	利用者及び世代層に対応した設備等の更新	大集会室床改修、高圧引込ケーブル工事、バリアフリー化工事、トイレ改修工事			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者のニーズ等に対応した施設内容にすることで、町民に利用しやすい施設環境の構築を図る。	① 大集会室長尺塩ビシート張替え。高圧ケーブル更新。バリアフリー化。1階トイレ改修。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成23年度	
			目標値	1 式	
			実績値	1 式	
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用者のニーズ等に対応した施設の整備と適切な維持管理	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
大集会室床改修	長尺塩ビシート張替え(町内業者による見積合わせ)				
高圧ケーブル更新	20メートルケーブル更新(町内業者による見積合わせ)				
バリアフリー化工事	踏石、手摺設置(指名競争入札)				
トイレ改修工事	1階男女トイレ及び多目的トイレ改修(指名競争入札)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	利用者ニーズ等に対応し、老朽化した設備の整備を計画的に実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	予定どおりに事業が実施され、利用者のニーズに対応した整備とともに利便性の向上が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	町内業者による指名競争入札と見積合せにより適切な事業費で効率的な整備を行った。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町民センターは一般町民が利用の対象であることから公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
利用の利便性を向上させる事業の実施を図ることができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
利用者のニーズに対応した整備の充実が必要である。		

* 展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 34

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	社会教育事業用公用車更新事業					
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	横田和幸	氏名	主査	
					櫻井輝久	
事業の概要	経年からの老朽化が見られるため、公用車を更新する。				全体計画 (平成 23 年度～ 23 年度)	
					国・道支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	
					事業費計	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単 位 施 策	5	施設・備品の有効活用			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	3,188 千円	千円
	合 計	千円	千円	千円	3,188 千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員・公用車	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	経年劣化による、安全性及び燃料効率の問題	公用車更新			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	更新による、公用車の安全な運用。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		① 公用車更新	目標年度	平成23年度	
			目標値	1 式	
			実績値	1 式	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安全性が高まり、安心して社会教育事業に使用することができる。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
公用車更新	車両購入(トヨタ ハイエースバン 1台)				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	社会教育事業に使用する公用車であり、生涯教育の推進のため必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	公用車更新により、運転の安全性が確保された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	利便性が大幅に上がり、またオートマチックになったことから使用できる職員が増えるなどの効果を得られた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	町民を対象とする社会教育事業用の公用車であり、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り更新することが出来た。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
終了			
更新を終了したため。			

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 35

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		沢木公民館解体事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	老朽化等により、鉄骨造一部ブロック造547.47㎡の解体と除去工事。				全体計画 / 単年度のみ (平成 23 年度 ~ 23 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 11,130 千円 事業費計 11,130 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	5 施設・備品の有効活用				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	千円	千円	千円	11,130 千円	千円
	合計	千円	千円	千円	11,130 千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公民館	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	経年劣化等により、施設の安全確保等に支障が生じている。	547.47㎡解体・除去			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設解体による環境整備と安全確保。	① 解体・除去	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成23年度	
			目標値	1 式	
			実績値	1 式	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	施設解体後の新施設整備。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
施設解体	施設解体・除去工事(町内業者による指名競争入札)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	公民館機能としての役割を果たし、新たな施設を建設することで地域住民の利便性が図られる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	予定どおりに事業が実施され、環境整備が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	町内業者3社による指名競争入札により適切な事業費で効率的な整備を行った。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	解体後も新規施設建設が見込まれていることから、利用の公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業の目的に沿う事業実施ができた。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
工事を終了したため。		

* 展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 36

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		芸術文化公演事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	舞台芸術の機会に恵まれない本町において、児童・生徒等を対象に演劇や音楽などの鑑賞機会を支援し、生の芸術にふれる場をつくり、情操の涵養を図るとともに、芸術への理解を深め地域文化の活性化を図るよう推進している。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 300 千円 一般財源 13,075 千円 事業費計 13,375 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	14 芸術・文化の振興				
	単 位 施 策	2 芸術・文化活動の促進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	500 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	159 千円	千円	893 千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	1,156 千円	3,421 千円	1,254 千円	2,088 千円	1,460 千円
	合計	1,156 千円	3,580 千円	1,254 千円	3,481 千円	1,460 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	限られた事業費で多様なニーズに対応したメニューを設定することが課題である。	鑑賞会開催回数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	芸術への興味や理解の促進	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		① 開催回数	目標年度	平成23年度	
			目標値	4 回	
			実績値	4 回	
		達成度	100.0 %		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	芸術文化への理解を深めることで、地域における芸術文化への取り組みが活発化し、芸術鑑賞の機会が増える。	② 文化講演会参加者	目標年度	平成23年度	
			目標値	250 人	
			実績値	201 人	
			達成度	80.4 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
鑑賞会の開催	保育所及び小学1～2年生～(人形劇)、小学3～6年生(演劇)、中学生(音楽鑑賞) 高校生(音楽鑑賞)				
文化公演事業	林家木久扇・一龍斎貞水二人会(落語3名・講談1名)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	芸術鑑賞の機会が少ないことで、他の地域との芸術文化に関する教養の格差が生じることから、より多くの芸術鑑賞の場を提供し、町民の芸術文化に対する知識等を高めるため必要な事業である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	町民及び児童・生徒の学年層に応じた芸術鑑賞の場を提供することができ、芸術文化に対する意識の向上を図ることができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	限られた予算において、事業執行の工夫を行いつつ、ニーズに沿った事業を実施することにより、芸術文化への意識と教養の向上が図られた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	事業の対象を町民及び、町内の児童・生徒としており、公平性は保たれている。(一部高齢者)
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり事業を実施することができ、期待する実施効果を得ることが出来た。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
芸術鑑賞を通じて芸術文化に対する教養を身につけ、学校等でその成果が発揮できるよう継続して場の提供をすることが重要であるため事業の継続が必要である。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 37

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		陶芸推進事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	地域に根付いてきた陶芸文化をより多くの町民がふれあうことが出来るよう、施設の管理体制を整え、維持管理を行うことで、利用の拡大を図る。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 3,800 千円 事業費計 3,800 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	14 芸術・文化の振興				
	単 位 施 策	2 芸術・文化活動の促進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	772 千円	726 千円	750 千円	779 千円	760 千円
	合 計	772 千円	726 千円	750 千円	779 千円	760 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	陶芸愛好者による自立した活動へのシフト	年間利用者数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	陶芸工房管理人体制の現状維持と文化の伝承活動と作陶技術の向上。	① 年間利用者数	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成23年度	
			目標値	600 名	
			実績値	424 名	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	陶芸文化の継続と文化的な活動の活性化とともに生涯学習の支援を行う	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
陶芸活動の推進	産業まつり、町民文化祭への作品出店				
管理人配置	陶芸愛好者への指導(3名配置、週3日間指導)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	芸術文化の取り組みとして陶芸事業も根付いており、生涯学習支援の面から事業の実施は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	管理体制と愛好者への指導などが継続的に行われるなど、町イベントへの出品等を通じて普及推進に努めている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	計画どおりの開設状況で、自主的な運営や指導体制が定着し、作陶技術も向上している。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	施設の維持管理については町が行い、陶芸活動に係る経費(燃料、材料等)は利用者負担で活動を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
生涯学習の観点に立った、社会教育の重要施策であり、陶芸推進の振興・発展を図るうえで、計画どおり事業を進めることができた。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持	継続／現状維持	
愛好者に沿った指導や安全対策の維持管理が可能であることから、現状の範囲内で支援しつつ、自主的な活動意欲の促進を図る。	同左	

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 38

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		社会教育関係団体活動費補助事業					
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係		
	管理職	職名	課長		作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸			氏名	佐藤公輔
事業の概要	社会教育の推進中核的な組織(文化連盟、子ども育成会、PTA連合会)に対して補助を行い、地域の活性化を促進する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 3,250 千円 事業費計 3,250 千円		
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()			
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～					
	基本施策	14 芸術・文化の振興					
	単位施策	2 芸術・文化活動の促進					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額(一般財源)	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円	
	合計	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円	650 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	会員の減少による各団体の配下組織の活動の停滞とその活性化支援	3団体への補助			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	団体での各種事業実施による自立と地域の活性化	① 文化連盟 子ども育成会 PTA連合会	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成23年度	
			目標値	3 団体	
			実績値	3 団体	
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域コミュニティー(地域力)の強化と町民の文化意識の向上	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
団体への助成	文化連盟(320千円)、子ども育成会(230千円)、PTA連合会(100千円) (町の財務規則に基づき、適正な助成を図っている)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	社会教育関係団体への活動支援は重要であり、団体の活動の活性化につながるとともに、そのことが地域の活性化へも波及する。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	会員数の減少傾向の中、各団体とも計画した事業の実施を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	各団体の活動状況に応じた、適切な助成を行っている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	各団体とも事業の実施にあたり広く町民に周知しており、多くの町民が参加することで公平性が保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
社会教育団体への助成により官民一体となった事業展開が可能となり、地域の教育力の向上に寄与できる。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持		
各団体の会員数等の減少により安定した自主財源の確保が困難な状況下にあることから、通常の活動を維持するために継続した助成は必要である。		

* 展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 39

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	社会体育団体活動費助成事業					
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	横田和幸	氏名	櫻井輝久	
事業の概要	本町の生涯スポーツ活動の中核的な役割を果たしている体育連盟・スポーツ少年団の育成やスポーツを通して地域の活性化や将来の指導者を養成するため、団体の活動に対し、助成するものである。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	2,700 千円
事業費計	2,700 千円					
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度 B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単位施策	1	推進体制の強化			
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円
	合計	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(スポーツ団体)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	町民のスポーツ離れ等による加盟単位協会や会員の減少及び活動の低下。	現加盟団体の維持		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民の単位協会に対する理解を深め、加入を促進させるとともに、スポーツ活動への積極的な参加を目指す。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	平成23年度
		① 体育連盟16協会	目標値	16 協会
			実績値	16 協会
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	指導者養成を行い、スポーツの普及を基に地域の活性化を図る。	② スポーツ少年団4団体	目標年度	平成23年度
			目標値	4 団体
			実績値	4 団体
			達成度	100 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
体育連盟、スポーツ少年団への補助	予算・決算・実施事業等の実績報告書を求め、内容を精査し補助する。 体育連盟400千円、スポーツ少年団140千円			

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	本町の生涯スポーツを推進する基幹団体であり、スポーツ活動を通じ町民の交流を深める役割を果たしており、将来の指導者を養成することも目的としている。また、町の活性化にもつながるため、これら団体を育成・支援することが必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	各団体の単位協会加入者は減少傾向にあるものの、現在、体育連盟600名、スポーツ少年団100名(指導者含む)が活動しており、町内外の各種大会へも積極的に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	各団体の事業に対し適切な活動費の助成を行っている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	実績報告書等を勘案して助成しており、また、各種団体の事業については広く町民の参加を受け入れていることから公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本町のスポーツ活動の中心的役割を果たしている団体への補助は、生涯スポーツを推進するうえで重要である。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
スポーツは、社会の活性化を促進させるとともに、人と人、地域間の交流や親睦を深める有効な手段である。また、子どもにとり協調性や競争意識などを養える学習の場でもあり、今後もこれらの助成は継続が必要である。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 40

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		スポーツ大会推進事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	横田和幸	氏名	櫻井輝久	
事業の概要	町民の健康維持、体力づくりの奨励とスポーツを通じて、地域、世代間の交流・親睦を図るため各種スポーツ大会を開催する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					事業費計	2,050 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単 位 施 策	2	学習・スポーツ活動の推進			
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	16 千円	11 千円	9 千円	8 千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	347 千円	354 千円	342 千円	347 千円	400 千円
	合 計	363 千円	365 千円	351 千円	355 千円	400 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	大会の参加者が年々減少しており、参加促進が課題である。	参加者数の確保			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	大会参加をきっかけとした、各団体・グループでの自主開催。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		① 大会参加者	目標年度	平成23年度	
			目標値	600 人	
			実績値	453 人	
達成度	75.5 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	仲間づくりや各世代間の交流を深めるとともに、自ら計画・実践を行う。	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
各種スポーツ大会の開催	町広報、新聞チラシ等による周知により参加を促し、種目により参加負担金を徴収して開催。(オムリンピック、雪合戦、自治会対抗パークゴルフ大会、キンボール、さわやかスポーツ)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	少子・高齢化が進む中、本町においてもスポーツ人口は減少しており、スポーツを全く行わない町民の解消のため、本事業は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	軽スポーツ大会を開催したことにより、幅広い年齢層の参加者が得られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	予算措置については必要最小限で行っており、また参加費の徴収による開催など、効率的な事業運営を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	対象は一般町民であり、広く町民に呼びかけ、参加者促進を行ったことから、公平性は保たれている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の期待度が高いプログラム設定を行い、多くの参加者を確保している。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
スポーツは健全な精神と身体を養成し、心豊かな生活を過ごす上からも必要不可欠なものであり、今後も継続的なスポーツ機会の提供は必要である。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 41

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		雄武町スポーツ振興事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	横田和幸		氏名	櫻井輝久
事業の概要	各種スポーツの全国・全道大会へ出場する個人、又は団体へ経費の一部を補助する事業である。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 2,000 千円 事業費計 2,000 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単 位 施 策	2	学習・スポーツ活動の推進			
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	610 千円	20 千円	54 千円	104 千円	400 千円
	合 計	610 千円	20 千円	54 千円	104 千円	400 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(スポーツ団体)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	個人・団体への大会参加経費の軽減による参加の促進。	大会出場の個人・団体	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	大会参加による競技意識の喚起及び積極的な上位大会への参加。	① 出場種目 個人	
		目標年度	平成23年度
		目標値	1 種目
		実績値	2 種目
達成度	200.0 %		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	充実したスポーツ活動の推進、競技意識の高まりを目的とする。	② 出場種目 団体	
		目標年度	平成23年度
		目標値	1 団体
		実績値	0 団体
達成度	0 %		
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
個人・団体への出場経費の補助	全国・全道大会へ出場する個人からの申請書提出後、要綱に基づき審査を行い助成した。(個人:空手、パークゴルフ)		

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	全国・全道大会は、交通費等により個人負担は高額となる。これらの大会に出場することは、出場者の競技レベルの向上につながり、本町のPR効果も十分に果たすものであることから、一部の助成は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	競技者への負担を軽減することにより、積極的な参加が図られ、競技スポーツの向上につながった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	高いレベルの大会参加を補助することは、当町のスポーツ環境向上に寄与しており、十分効果を得ている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	事業趣旨に沿い、大会成績を基準に補助していることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業は、本町の競技スポーツの向上と参加促進につながり、特に児童・生徒の競技意識の高揚につながった。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
スポーツ活動の推進とともに、レベルの高い競技者の育成、将来の指導者の養成といった観点から、今後も継続が必要である。		

* 展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 42

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	スポーツ教室推進事業					
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	横田和幸	氏名	櫻井輝久	
事業の概要	町民や学校週5日制による余暇時間の増えた子ども達に広くスポーツに親しむ機会や健康を維持する学習活動を提供するため、各種スポーツ・学習教室を開催する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	
					国・道支出金 千円	
					地方債 千円	
					その他 千円	
					一般財源 1,200 千円 事業費計 1,200 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進			
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	23 千円	21 千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	141 千円	104 千円	129 千円	116 千円	230 千円
	合計	164 千円	125 千円	129 千円	116 千円	230 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	参加者の固定・減少化を解消していくための、スポーツ参加の促進。	参加者		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	子どもから大人まで一人でも多くスポーツに親しむことを目指す。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	平成23年度
			目標値	250 人
			実績値	249 人
			達成度	99.6 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	運動の楽しさ、爽やかさを実感することによるスポーツ意欲を促進させるとともに、運動後の身体の自己管理技術を身につける。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
各種教室の開催	町広報、学校、新聞チラシ等による周知を行い、スポーツ推進委員、体育連盟等の指導者協力を得て開催。(わんぱく道場、AED、ジュニアスクール、ブルームボール教室)			

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町民が気軽にスポーツに親しむ機会が減少しており、生涯スポーツの推進を図るためにも各年齢層のスポーツ活動の参加を促進させる必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	幅広い年齢層の活動が促進され、事業終了後も自主的に活動を行うなど、町民ニーズに沿ったプログラム提供ができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	町内関係者が指導することにより、低予算で実施することができた。また、外部指導者を招へいた場合においても、比較的低予算で行っていることから、効率的である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	一般町民を対象としており、広く町民に参加を呼びかけていることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の健康・体力づくりに寄与するためには必要な事業であり、町民のニーズを把握しながら実施した。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
町民のスポーツ環境の向上には、事業を継続する必要がある。 特にブルームボールは町の奨励スポーツであり、活動を活性化させるために、指導者の養成等継続的なサポートが必要である。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 43

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		スポーツ等合宿招致調査研究事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長		職名	主査
		氏名	横田和幸		氏名	櫻井輝久
事業の概要	スポーツ人口の減少とともにスポーツ団体の事業状況も年々低くなってきており、改善方策としてスポーツ意識の刺激等につながるスポーツ等合宿の招致について調査研究を行う。				全体計画 (平成 22 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業		優先度 C
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単 位 施 策	2 学習・スポーツ活動の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	大学、実業団等のスポーツチーム	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	スポーツ人口の減少及びスポーツ団体による事業実施の低迷。	調査研究			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	スポーツ等合宿招致に係る事業化可能性の調査研究。	① 調査研究	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成23年度	
			目標値	1 式	
			実績値	1 式	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	スポーツ等合宿招致に係る事業化の可能性についての方向性の確立。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
調査	先進地等における調査及び資料収集。				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	本町のスポーツ推進及び新たな方策の可能性となるスポーツ等合宿招致の調査は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	大学や実業団等のスポーツチームの招致に向けて調査を実施し、必要性等の検討を図ることが出来た。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	コストをかけずに調査を実施することで、効率性が確保された。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

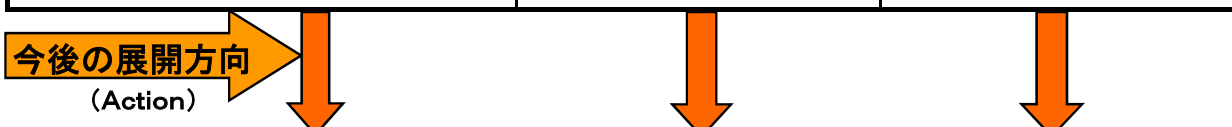
(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	調査研究が目的であるため、公平性は保たれた。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
インターネット等により各市町村の取り組み状況の調査等を行った。	同左	



継続／現状維持	継続／現状維持	
スポーツ等合宿招致の方向性を確立していくため、今後も継続的な調査を実施し、実現可能な検討を進める必要がある。	同左	

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 44

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		スポーツイベント参加助成金								
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係					
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査				
		氏名	横田和幸	氏名	櫻井輝久					
事業の概要	スポーツイベントに参加することにより、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的に、その経費の一部を助成する。助成金の対象となるスポーツイベントはインターナショナルオホーツクサイクリングを想定しており、町内小中高等学校の児童・生徒を対象とする。					全体計画 / 単年度のみ (平成 23 年度～ 24 年度)				
						事業費	国・道支出金	千円	地方債	千円
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()						
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B				
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～							
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進							
	単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進							
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務						
	その他計画・根拠等									
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)				
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円				
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	180 千円	250 千円				
	合計	千円	千円	千円	180 千円	250 千円				

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	事業参加者の減少。	申請者数		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	参加費の一部を助成し、参加の負担を軽減する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
		① 申請者数	目標年度	平成23年度
			目標値	40 名
			実績値	18 名
達成度	45.0 %			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	参加者の増加による、事業の発展と町の活性化を目的とする。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
オホーツクサイクリング参加費助成	広報等で助成周知を行い、参加者から申請書及び関係書類を提出を受けた後、指定口座への助成金振込を行った。(助成額10,000円)			

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	当町はオホーツクサイクリングの出発地という重要な役割を担っており、町民の参加促進が必要である。また、児童・生徒の貴重なスポーツ体験の機会を提供する意味でも助成は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	助成制度の有効な利用が見られ、効果が得られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	対象を町内在住の児童生徒と絞っていることから、町民のニーズに沿いながら効率的に助成を行うことができた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町内すべての児童生徒を対象としている事業であり、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
オホーツクサイクリングに参加し易い環境作りが図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
当町でのオホーツクサイクリングの参加促進を進めるためには、助成を継続する必要がある。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 45

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		社会体育施設委託業務事業								
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係					
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査				
		氏名	横田和幸	氏名	櫻井輝久					
事業の概要	本町の生涯スポーツの推進に寄与すべく主要な体育施設の適正な管理を民間業者等に委託するものである。					全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)				
						国・道支出金			千円	
						地方債			千円	
						その他			千円	
						一般財源	39,770		千円	
				事業費計	39,770 千円					
実施方法	直営	■ 民間委託		その他 ()						
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B				
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～							
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進							
	単 位 施 策	5	施設・備品の有効活用							
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務						
	その他計画・根拠等									
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)				
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円				
	雄武町負担額 (一般財源)	8,707 千円	9,753 千円	6,536 千円	6,544 千円	8,680 千円				
	合計	8,707 千円	9,753 千円	6,536 千円	6,544 千円	8,680 千円				

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	施設を良好な状態に維持し管理を行う。	年間利用者数		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者数の増加と快適な施設利用及び経費の削減。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	平成23年度
		①各スポーツ施設の年間利用者数 ①風の丘スキー場(2,649) ②宮の森パークゴルフ場 ③農村広場(1,750) ④ブルームボールコート ※②・④不詳	目標値	10,000 人
			実績値	4,399 人
			達成度	44.0 %
			②	目標年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	本町のスポーツ活動の活性化と健康増進を図る。職員の労務管理の軽減。体育施設運営費のコスト削減。	目標値		
		実績値		
		達成度	%	
		内 容(どのような手段で何を行ったか)		
各体育施設の管理委託	指名競争入札により業者を決定し、各維持管理業者に委託した。(風の丘スキー場、宮の森パークゴルフ場、農村広場、ブルームボールコート)			

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	各施設において不特定多数の利用があり、受付・備品貸出等の業務が発生するため、管理人の常駐は必要である。また、町民の健康維持増進・交流の場を有効に維持管理するため、本事業は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	施設の安全管理には充分配慮しており、良好な状態を保持していることから、利用者から高く評価されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	教育施設管理を一本化することにより、コスト削減につながっている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町民を利用対象とする施設及び備品の維持管理業務であり、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
利用者の利便性が向上し、学校教育活動の支援ができた。		

<p>今後の展開方向 (Action)</p> <p>↓</p> <p>継続／現状維持</p>	↓	↓
町民ニーズに沿った維持管理が可能であることから、施設管理は継続して行っていく必要がある。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 46

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		農村広場改修事業					
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係		
	管理職	職名	課長		職名	主査	
		氏名	横田和幸		氏名	櫻井輝久	
事業の概要	農村広場(野球場)の維持管理するうえで、計画的に更新改修するものである。					全体計画 (平成 22 年度～ 23 年度) 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 2,692 千円 事業費計 2,692 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単 位 施 策	5	施設・備品の有効活用				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	3,938 千円	1,533 千円	千円	
	合計	千円	千円	3,938 千円	1,533 千円	千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農村広場(野球場)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	経年劣化等により、施設の安全確保等に支障が生じている。	電気設備改修・塗装改修		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設を更新することにより、安全に利用できる。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	平成23年度
		① 電気設備改修	目標値	1 式
			実績値	1 式
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用者への利便性向上と適正な維持管理が図られる。	② 塗装改修	目標年度	平成23年度
			目標値	1 式
			実績値	1 式
			達成度	100 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
電気設備改修	高圧引き込みケーブル取替・高圧区分開閉器取替・照明柱引込盤配管取替(指名競争入札)			
塗装改修	観客席ベンチ塗装(指名競争入札)			

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	施設の安全かつ効果的な運用を行うためには、計画的に整備を実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	施設利用者の安全が確保され、安心して利用できる体制が整備された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	適切な予算執行により、快適な施設として町民が利用できるよう、計画的に老朽化の解消を図っていることから、効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	利用者の安全確保のための事業であり、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
利用者の安全性の向上を図るためには、施設改修整備は重要であり計画どおり実施ができた。		

今後の展開方向 (Action)	終了		
	改修を終了したため。		

* 展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 47

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		スポーツセンター整備事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	横田和幸		氏名	櫻井輝久
事業の概要	スポーツセンターの老朽化に伴い、計画的に更新整備するものである。				全体計画 (平成 22 年度～ 24 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	5,495 千円
					事業費計	5,495 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単 位 施 策	5	施設・備品の有効活用			
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	338 千円	5,093 千円	0 千円
	合 計	千円	千円	338 千円	5093 千円	0 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	経年劣化による、利便性・衛生面の問題	スポーツセンタートイレ改修	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	トイレの改修により、衛生的で快適な施設空間を確保する。	指標(指標計算式/解説)	
		目標年度	平成23年度
		目標値	1 式
		実績値	1 式
達成度	100.0 %		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	スポーツセンターを利用する町民に対し、衛生的で快適なトイレ空間を提供することにより、スポーツセンターのイメージアップが図られ、スポーツ振興の一助となる。	②	
		目標年度	
		目標値	
		実績値	
達成度	%		
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
トイレ改修	便器取替		

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	公の施設の維持管理については、施設設置者である行政が実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	トイレの改修により、衛生的で快適な空間を提供することが出来た。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	適切な予算執行により、快適な施設として町民が利用できるよう、計画的に老朽化の解消を図っている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	競技者及び観覧者の利便性のための事業であり、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
利用者の利便性の向上を図るための施設整備は重要な事業であり、計画どおり実施できた。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
町民利用の促進を図るため、老朽化した施設の整備は継続して実施していく必要がある。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 11 - 48

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	オムイ杯交流パークゴルフ大会協賛金					
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	生涯教育係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	横田和幸	氏名	櫻井輝久	
事業の概要	第20回オムイ杯交流パークゴルフ大会に対し協賛金を支出し、運営の支援を行う。				全体計画 / 単年度のみ (平成 23 年度 ~ 23 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	100 千円
事業費計	100 千円					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第5期総合計画(前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	100 千円	千円
	合計	千円	千円	千円	100 千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	記念大会の自主運営が困難である。	団体への補助		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	運営経費の支援により、計画どおりの大会運営を図る。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
		① 団体への補助	目標年度	平成23年度
			目標値	1 団体
			実績値	1 団体
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	大会開催による競技の普及び発展と、町の活性化を目的とする。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内容(どのような手段で何を行ったか)				
オムイ杯交流パークゴルフ大会協賛金	協賛金として100,000円を助成し、大会運営の支援を行った。			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	パークゴルフは当町で愛好者の多い競技であり、大会を支援することにより、競技のさらなる普及、競技者意識の高まりが大いに期待できることから、助成は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	計画どおり大会運営が行われ、多くの参加者が得られたことから有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的 ／課題あり	判断の理由	町内外から多くの参加があり、当町のPRにも貢献できたことから、効果があった。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	




(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	広く参加者を募り開催している大会であり、当町からの参加する者も多いため、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
当町のパークゴルフの普及促進に貢献した。		

今後の展開方向 (Action)			
	終了 第20回を記念する大会を支援する助成であり、目的を果たすことが出来た。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--